

はじめに

宇治市長 松村 淳子



宇治市では、住民の誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、生活課題の解決を目指す総合的な福祉のまちづくり計画となる「第2期宇治市地域福祉計画」を平成23年3月に策定し、行政内部の各部門別計画をはじめ、宇治市社会福祉協議会が策定した「第3次宇治市地域福祉活動計画」とも理念を共有しながら、様々な施策を展開し、地域福祉の推進を図ってまいりました。

しかし、全国的に少子高齢化や世帯の小規模化が進行する中で、高齢者や障害者、子育て世帯などの従来からの福祉の支援を必要とする人やニーズの増加と併せ、価値観やライフスタイルの多様化の影響もあり、ひきこもりや自殺を考える人、ヤングケアラーなどの複雑化・複合化した生活課題がこれまで以上に問題視されるなど、社会情勢は大きく変化してきています。さらには、世界的に流行が長期化している新型コロナウイルス感染症が我が国においても猛威を振るう中で、地域での住民同士の交流やふれあい、人と人とのつながりの一層の希薄化が進んでおり、改めて地域コミュニティの活性化や地域力を育むまちづくりが求められています。

このような状況をふまえ、時代の変化に対応し、「WITH コロナ・POST コロナ時代の安全・安心」や、誰もが住みやすい共生社会に向けて、地域福祉の推進を担う5者による連携・協働のもと、宇治市の「地域共生社会」の実現を目指して「第3期宇治市地域福祉計画」を策定いたしました。

本計画は、上位計画である宇治市第6次総合計画と整合を図りながら、基本理念である地域共生社会の実現を目指し、各種施策や取組を積極的に推進してまいりますので、市民の皆様・関係各位のより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりまして、長きにわたりご論議いただいた宇治市地域福祉推進委員会委員の皆様をはじめ、アンケートやパブリックコメントの実施に際し、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様・関係団体・事業者各位に厚くお礼申し上げます。

令和4年(2022年)3月